

コロナ大恐慌に備え、ピンチをチャンスに変える！

航空各社は、ゴールデンウィークの国際線予約は前年同期比 97%減と予約状況を発表しました。航空機メーカーの雄・ボーイング社は、国に支援を要請し、各国では主要航空会社も経営破綻が表面化してきています。

原油価格は、史上初めてマイナス価格を付け、盤石と謂われた産油国の信用リスクが高まっています。

日本の基幹産業であるトヨタ・日産も、生産を計画比に対して、当面、半減を見込んでいます。

先進国は、すでに“コロナ大恐慌”であると報道されています。恐らく、75歳以下の日本人で、これほど激しい経済変動を、実体験した人はいないでしょう。

世の中は、「これから、どうなるのだろうか？」と、組織のトップにある社長さえ、不安と狼狽で正しい判断力を失っているのです。転覆しそうな船の船長が、自らの視野を広げることがせず、部屋に閉じこもっているようなものです。

社長にとって、大切なことは、これから「どうしたいか」という信念・態度です。そもそも、社長は“方向を示し”“兵站す”が、主要な任務のはずです。

夢と勇気を持って、新しい旅に立つ準備をする人には、まだ見ない素晴らしい風景を目の当たりにすることになります。

大ピンチは大チャンスと捉えられない社長は、時代が退場を命じます。

150年前の“明治維新”には、長く続いた武士の時代が終わり、知恵と才覚で、若きビジネスマンが世界に雄飛したのです。

75年前の“大東亜戦争の終戦”には、大財閥や資本家を差し置いて、徒手空拳の若者が時代を切り開き、世界第二位の経済大国を創ったのです。

そして、今、目の前に“三度目の大チャンス”が来たのです。

悶々としていた若者・力を発揮する場がなかった若者・人が見たら気が狂っているのかと思われるバカ者・恥も外聞もない規格外の若者が、この大チャンスを掴むのです。非常時には、頭の良し悪しは、問題外です。否、下手な学歴は邪魔です。

年寄りには、この若者に、資金の提供と、バックアップをしてあげてください。そのために、我々は、今日まで、平和な時代を生かしてもらってきたのです。日本の夜明けです。世界が変わります。若者たちの時代です。



今月のポイント

雌伏の後に雄飛あり！！

日本の若者、ここに在り！！